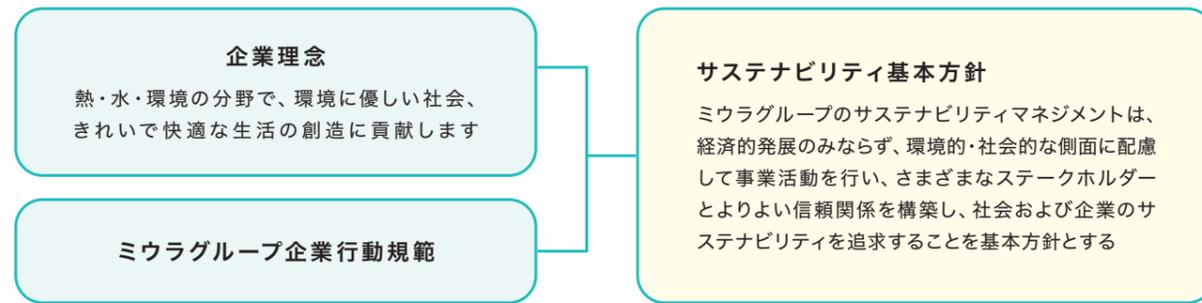


サステナビリティ推進体制

当社は、ミウラグループ理念体系および企業行動規範をふまえて策定した「サステナビリティ基本方針」のもと、サステナビリティ経営を推し進める仕組みとして、サステナビリティ推進会議を設置し、体系的に活動を行っています。

■ サステナビリティマネジメント

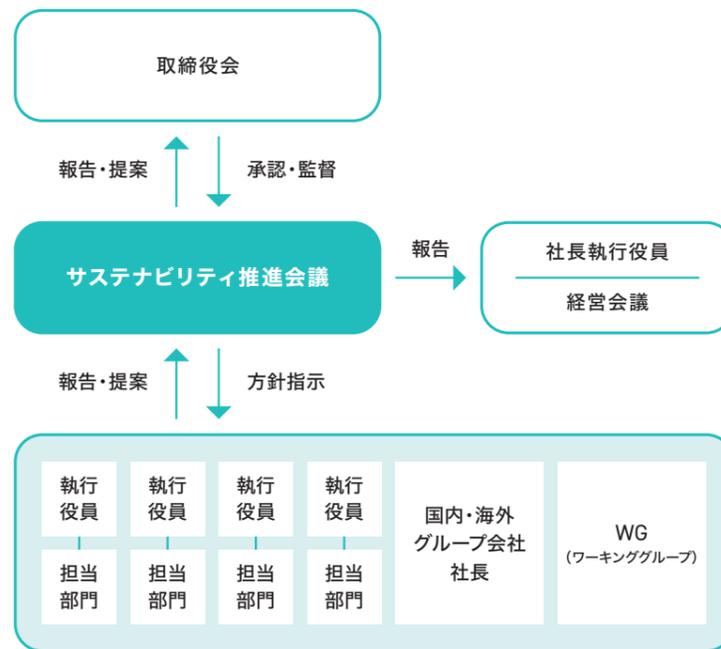


サステナビリティ推進体制

サステナブルな経営を推進する仕組みとしてサステナビリティ推進会議を年4回開催し、サステナビリティの重要課題（マテリアリティ）の推進に取り組んでいます。推進会議は、社長執行役員が指名するサステナビリティ推進担当役員を議長とし、関連部門の執行役員等で構成しています。推進会議では、価値創造プロセスとその持続性に重要な影響を及ぼす課題としてミウラグループマテリアリティを特定し、その解決に向け、具体的な取り組みを整理し、各部門が長期的に目指す姿としてKPIを設定し、関連性の高いSDGsとの関係を整理し、方針・計画・施策の審議決定（Plan）、各部門での遂行（Do）、進捗管理＝推進会議での進捗報告（Check）、各部門の取り組みの促進（Action）を行っています。

経営会議および取締役会へ審議・決議事項等を定期的に報告・提案を行い、取締役会が監督するガバナンス体制により、サステナビリティ経営を推進しています。

■ サステナビリティマネジメント体制図



サステナビリティ推進会議（2024年3月期）主な議題内容

- ミウラグループマテリアリティについて各部門のKPI進捗管理および計画の見直しを実施
- 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同表明
- インターナルカーボンプライシングの運用開始および進捗管理など

マテリアリティ

ミウラグループでは、価値創造プロセスとその持続性に重要な影響を及ぼす課題を株主・投資家などの主要ステークホルダーの視点で抽出しています。マテリアリティ項目の取り組み強化により、社会的価値創出と経済的価値創出の両立を目指します。

